

令和8年度 府立学校人権教育研修E 実施要項 (子どもの人権)

- 1 目的 児童の権利に関する条約及び子ども基本法等関係法令の趣旨を踏まえ、貧困や虐待、ヤングケアラー等、厳しい養育環境にある子どもの現状を理解し、児童生徒一人ひとりの人権が尊重された教育について認識を深めるとともに、子どもの権利を保障するために、学校に求められる役割や取組みについて考える。
- 2 対象 府立学校教職員
※各校課程別に、2099、2109、2119、2129の研修より、1つ以上を選択すること
(但し、複数の研修を受講する場合は、それぞれ別に受講申し込みをすること)

3 日時等

回	日時	主題等	講師等
1	オンデマンド開催 10月23日(金) ～ 11月12日(木)	児童生徒を支えるための取組みについて ヤングケアラーが抱える課題について —家族のケアを担う子どもの実情— [実践発表・講義]	府立学校教職員 立命館大学 教授 斎藤 真緒

4 会場 所属校等

5 担当室 人権教育研究室

個別募集

令和8年度 府立学校人権教育研修E シラバス (子どもの人権)

1 目的

児童の権利に関する条約及びこども基本法等関係法令の趣旨を踏まえ、貧困や虐待、ヤングケアラー等、厳しい養育環境にある子どもの現状を理解し、児童生徒一人ひとりの人権が尊重された教育について認識を深めるとともに、子どもの権利を保障するために、学校に求められる役割や取組みについて考える。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	I			II			III			IV			V		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期	○			○			○		○				○		○
第2期	○			○			○		○				○		○
第1期															
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	児童生徒を支えるための取組みについて	課題を抱える児童生徒を支えるための校内体制づくりについて認識を深める。	実践発表を通して、児童生徒を支えるための外部連携を含めた具体的な学校づくりについて学ぶ。	
	ヤングケアラーが抱える課題について —家族のケアを担う子どもの実情—	ヤングケアラーが抱える課題について理解し、児童生徒を支える学校づくりの在り方について認識を深める。	講義を通して、ヤングケアラーの現状について認識を深め、児童生徒を支えるための学校に求められる役割について考える。	